

平成29年8月10日

輸送動向について（7月分）

1. 輸送概況

今月は、上旬に発生した台風3号の接近および九州地区をはじめとした各地の大雨、さらには東海道線送電障害の影響等により、月全体で高速貨263本が運休となった（前年は、高速貨47本が運休）。

コンテナについては、自動車部品が東海地区を中心に好調な発送となっているほか、エコ関連物資においては関東内・北海道内での建設発生土輸送等が順調に推移した。また積合せ貨物では、ドライバー不足を背景に鉄道へのシフトが進み増送となったほか、食料工業品では気温上昇に伴って長野・静岡・近畿地区からの清涼飲料水の出荷が旺盛となり、前年を上回った。

一方、紙・パルプは、印刷紙・コート紙の需要減少に伴い大幅な減送となった。また農産品・青果物は、米が低調な輸送となったことに加え、北海道地区からの野菜類の出荷が減少したことから前年を下回った。その結果、コンテナ全体では前年比100.2%となった。

車扱については、石油が配送圏の見直しに伴い、鉄道へのシフトが進んでいることから、前年を大きく上回る発送となり、車扱全体では前年比103.8%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比101.1%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,852	1,848	100.2%	7,283	7,087	102.8%
車 扱	669	645	103.8%	2,586	2,514	102.9%
合 計	2,521	2,493	101.1%	9,868	9,601	102.8%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	111	123	-12	90.1%
	化学工業品	179	182	-3	98.1%
	化学薬品	125	124	1	101.2%
	食料工業品	362	357	5	101.7%
	紙・パルプ	236	260	-24	90.8%
	他工業品	137	130	7	105.2%
	積合せ貨物	228	221	7	102.8%
	自動車部品	73	61	12	121.1%
	家電・情報機器	39	41	-2	95.6%
	エコ関連物資	47	37	10	127.5%
	その他	315	314	1	100.6%
	コンテナ計	1,852	1,848	4	100.2%
車 扱	石油	430	401	29	107.4%
	セメント・石灰石	113	126	-13	89.4%
	車 両	68	65	3	104.6%
	その他	58	53	5	109.6%
	車 扱 計	669	645	24	103.8%
	合 計	2,521	2,493	28	101.1%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）